

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	置杵牛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注)農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格の減少等により売上高が伸びなかったことや肥料や農薬、燃料費等の費用が増大したため、目標達成することができなかった。(達成率58.0%)	収穫期である9-10月までの間にJAの販売部局の指導のもと販路の拡大等による買取価格の向上に向けた取組を行うとともに、適正な施肥量や農薬量を用いることでコスト削減を図るよう、8月中旬に普及センターの普及指導員等より指導の場を設け、令和4年度までに目標達成することとする。
		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。(達成率52.9%)	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
		輸出の取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響で物流の停滞や輸送費の高騰により、国内商社等との商談が上手く進まず、輸出に取り組むことができなかった。(達成率0%)	町や農協等と連携した輸出に関わる情報を常時提供し、年内に商社とのマッチングを実現するようサポートすることで、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格の減少等により売上高が伸びなかったことや肥料や農薬、燃料費等の費用が増大したため、目標達成することができなかった。(達成率58.0%)	収穫期である9-10月までの間にJAの販売部局の指導のもと販路の拡大等による買取価格の向上に向けた取組を行うとともに、適正な施肥量や農薬量を用いることでコスト削減を図るよう、8月中旬に普及センターの普及指導員等より指導の場を設け、令和4年度までに目標達成することとする。
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。(達成率52.9%)	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
輸出の取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響で物流の停滞や輸送費の高騰により、国内商社等との商談が上手く進まず、輸出に取り組むことができなかった。(達成率0%)	町や農協等と連携した輸出に関わる情報を常時提供し、年内に商社とのマッチングを実現するようサポートすることで、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体が中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	北瑛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注)農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。(達成率52.9%)	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。(達成率52.9%)	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	大村	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注)農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		農業経営の法人化	法人化に向けての協議は進んでいるが、それに伴う書類等の整備が追いつかず、目標が達成できなかった。(達成率0%)	JA・税理士等との打合せの場を12月以降に設定するなど関係機関と準備を進め、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農業経営の法人化	法人化に向けての協議は進んでいるが、それに伴う書類等の整備が追いつかず、目標が達成できなかった。(達成率0%)	JA・税理士等との打合せの場を12月以降に設定するなど関係機関と準備を進め、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	五稜	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	経営規模の拡大に伴い、新たな農業用機械の導入等の初期投資により、一時的に費用が大きく増加したため、目標達成することができなかった。(達成率-97.3%)	効率的な営農や適切な施肥量、農薬量について普及センターや農協の営農指導員により8月に指導することで、拡大した経営面積を有効活用し安定的な収入が得るとともにコスト低減を図ることで、令和4年度までに目標達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	経営規模の拡大に伴い、新たな農業用機械の導入等の初期投資により、一時的に費用が大きく増加したため、目標達成することができなかった。(達成率-97.3%)	効率的な営農や適切な施肥量、農薬量について普及センターや農協の営農指導員により8月に指導することで、拡大した経営面積を有効活用し安定的な収入が得るとともにコスト低減を図ることで、令和4年度までに目標達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入することとする。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	福富三愛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格の減少等により売上高が伸びなかったため、目標達成することができなかった。(達成率99.9%)	普及センターの普及指導員より作業の効率化や品質向上及び買取価格の向上に向けた指導を行うことで、令和4年度までに目標達成することとする。
2		経営面積の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実需側の販売が思うように進まず、需要が減少したため、供給を抑えたことにより頭数を増加させることができなかった。(達成率88.5%)	実需側のプロモーションや販路開拓をJAや町との連携のもと促進し供給を拡大することで、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格の減少等により売上高が伸びなかったため、目標達成することができなかった。(達成率99.9%)	普及センターの普及指導員より作業の効率化や品質向上及び買取価格の向上に向けた指導を行うことで、令和4年度までに目標達成することとする。
経営面積の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実需側の販売が思うように進まず、需要が減少したため、供給を抑えたことにより頭数を増加させることができなかった。(達成率88.5%)	実需側のプロモーションや販路開拓をJAや町との連携のもと促進し供給を拡大することで、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入することとする。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	旭	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染症の影響により米の価格が下落したことで収入が減少したため、目標達成することができなかった。(達成率-4.7%)	普及センターの普及指導員と農協の営農指導員により、作業の効率化や適正な施肥量や農薬量等の指導を8月に実施することでコスト削減を図り、同様に品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう8月に指導をすることで収入の増加を図り、令和4年度までに目標達成することとする。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染症の影響により米の価格が下落したことで収入が減少したため、目標達成することができなかった。(達成率-4.7%)	普及センターの普及指導員と農協の営農指導員により、作業の効率化や適正な施肥量や農薬量等の指導を8月に実施することでコスト削減を図り、同様に品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう8月に指導をすることで収入の増加を図り、令和4年度までに目標達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入することとする。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。